株式会社タイムドメイン
〒630-0101 奈良県生駒市高山町8916-12
高山サイエンスプラザ
TEL.0743-72-3310 FAX.0743-72-3313

TIMEDOMAIN
AUDIO REALIZER SYSTEM

model

tube speakers & engine

取扱説明書

安全上のご注意

本機のセッティング、並びに使用、保管にあたっては、下記の注意事項を必ずお守りください。誤った取扱いをしますと、本機の故障の原因となるだけではなく、火災・感電等による死亡事故や大けが、あるいは物的損害が発生する恐れがあります。

ＡＣアダプターのコードを傷つけないでください。
ＡＣアダプターのコードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
・本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
・ＡＣアダプターのコードを加工したり、傷つけたりしない。
・重たいものを乗せたり、引っ張ったりしない。

ＡＣアダプターのプラグについたホコリなどは定期的に取り除いてください。
プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不足となり、火災の原因となります。

このＡＣアダプターは日本国内専用です。
交流１００Ｖでお使いください。海外など異なる電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

ＡＣアダプターのプラグは根元までコンセントにさしこんでください。
しっかり根元までさしこまないと、火災や感電の原因となります。

ぬれた手でＡＣアダプターをさわらないでください。
ぬれた手でＡＣアダプターの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

ＡＣアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しないでください。
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

付属のＡＣアダプター以外は使用しないでください。
火災や感電の原因となります。また、本ACアダプターを、本機以外の機器に接続しないでください。

雷が鳴りだしたら、ＡＣアダプターの電源プラグを抜いてください。
感電の原因となります。

長時間使用しないときはＡＣアダプターのプラグを抜いてください。
長時間使用しないときは、安全のためにＡＣアダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

本機や電源コード等を熱器具に近づけないでください。

旅行などで長時間、本機をご使用にならない時は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグを抜いてください。

スピーカーケーブルやステレオミニジャック及びピンジャック、ＡＣアダプターなどを接続するときは、
エンジン（アンプリファイアー）の電源を切ってください。
ＡＣアダプターやオーディオ機器を接続する側の機器の電源も切ってください。
感電や故障の原因となることがあります。

万一異常・故障が発生したら、電源プラグをすぐ抜いてください。
煙が出ている、変なにおいや音がするなど、異常・故障状態のまま使用すると、
火災や感電の原因となります。
故障したまま、絶対に使用しないでください。

本機を分解したり改造したりしないでください。
火災や感電の原因となります。

次のような場所には設置しないでください。
・湿気やホコリの多い場所。
・油煙や湯気が当たるような場所。
・直射日光が当たる場所。
・振動の多い場所。

本機に強い衝撃を与えないでください。また、動作中の移動は避けてください。

■お手入れの手引き

本機は、シリコンクロス、または柔らかい布でから拭きしてください。
かたい布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭きますと、傷がついたり文字が消えたり、変色したりする恐れがありますのでご注意ください。
化学雑巾などを使用される場合は、それに添付している注意書きをお読みください。

電源を入れる前にはエンジンのサウンドレベルを左に回し切った位置（pp）にしてください。
過大な音量でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

本機は通常の音楽再生時以外の、下記のような特殊な信号が加えられると過大電流による故障や火災の原因となることがあります。
・ＦＭチューナー等が同調していない時のノイズ。
・テープレコーダー等の再生メディアを早送りをした時のノイズ。
・発信機やシンセサイザー、エレキギター等の高い周波数成分の音。
・ピンジャックやステレオミニジャック等の接続端子の抜き差し時の音。
・マイク使用時のハウリング。

展示使用等、人通りや人が集まる場所で設置する場合、スピーカーが倒れたりしないよう、ひもで壁とつなぐなど、工夫をしてください。

ご注意>>

**この製品はくり返し試聴を行い、音質を最優先したデザイン・構造になっております。
衝撃等が加わりますと転倒の危険がございます。
特に、セッティングの際や、小さなお子様が周りにいる時には、くれぐれもご注意下さい。**

まず、ご確認ください。

■「yoshii9」のパッケージには
下記のものが同封されています。
まず、ご確認ください。

・スピーカー（×２）
・スピーカーネット（×２）
・エンジン
・ＡＣアダプター
・スピーカーベース・アダプター（×６）
・取扱説明書（本冊子）
・保証書
・ユーザーカード

エンジン

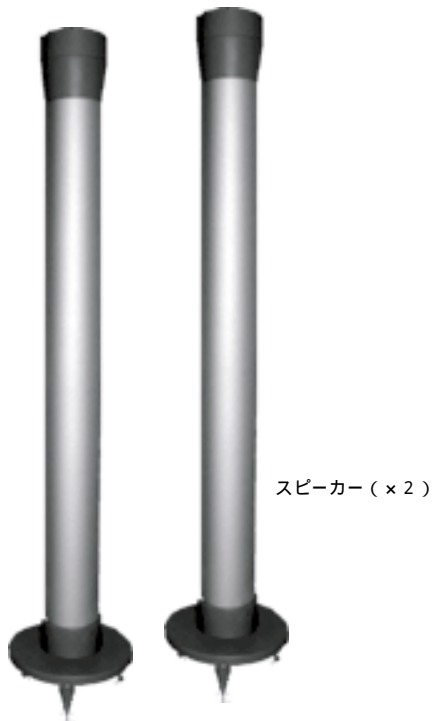
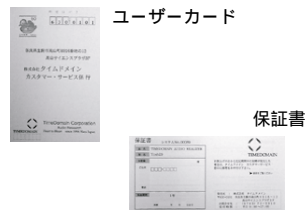
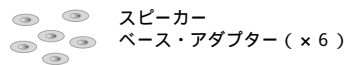
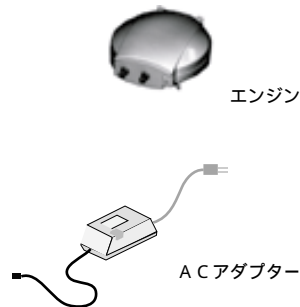
ＡＣアダプター

スピーカー
ネット
（×２）

スピーカー
ベース・アダプター（×６）

スピーカー（×２）

ユーザーカード

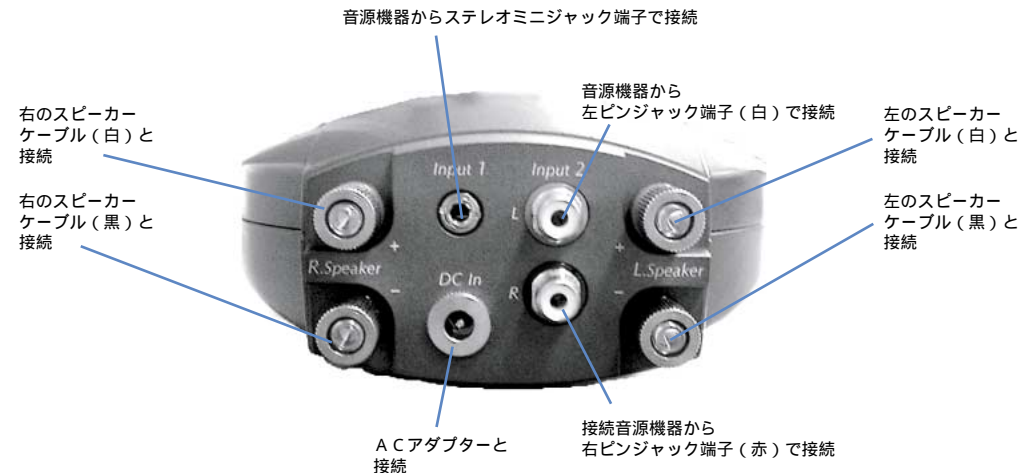
保証書

エンジン前部

① Input １-----後部ステレオミニジャック端子への入力信号に接続し、入力信号を再生します。
Input ２-----後部ピンジャック端子の入力信号を再生します。

② Sound Level--音量を調整します。
・ｐｐ(ピアニッシモ)側は音量を小さくします。
・ｆｆ(フォルテッシモ)側は音量を大きくします。

過大な音量では
音がひずむことがありますが、
これは故障ではありません。

③ Ready--------スイッチ下側　電源オフ
スイッチ上側　電源オン
(緑色のLEDが点灯)

エンジン後部

④ R. L. Speaker （＋）スピーカーケーブル(白)を
（－）スピーカーケーブル(黒)を接続します。
⑤ Input１--------ステレオミニジャック入力端子
⑥ Input２--------ピンジャック入力端子 上(白)はLEFT(左)白を
下(赤)はRIGHT(右)赤を
接続します。
⑦ DC In ---------電源入力（ＡＣアダプター）を接続します。

本機をセッティングしましょう

本機をパッケージから取り出して、お部屋の中にセッティングします。
下記順序に基づいてセッティングしてください。セッティングが間違っていると、音が出なかったり、故障の原因になる可能性もあります。

パッキンケースは必ず上部から開封してください。
パッキンケースは、輸送を行うときに必要な他、
修理や検査の目的で、当社にお送りいただくときに、必要となりますので、
保管しておいてください。

**パッキンケースの上部を開け、
押さえの段ボールを取り外してください。**

**スピーカーの間にある
ＡＣアダプター、エンジン、スピーカーネットが
入った箱を取り出してください。**

箱から、丁寧にそれぞれを取り出します。

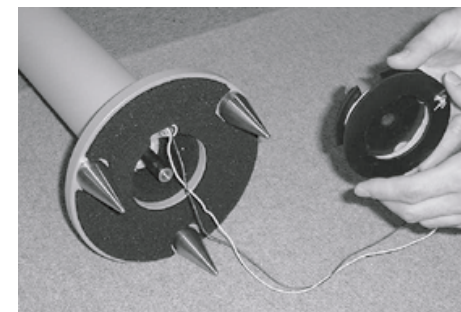
**粘着テープで、中に貼り付けてある
スピーカーベース・アダプターを、丁寧に取り外してください。**

**スピーカーの上下を押さえている
段ボールを、押し上げてください。**
この押さえを上げずにスピーカーを取り出すと、スピーカーがいたむ恐れがありますので、ご注意ください。

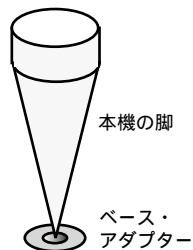
**スピーカーを両手で抱えるようにして
段ボールから取り出してください。**

スピーカーのセッティング

チューブ型スピーカーの底部にあるストッパー金具のネジを取り外してください。
ストッパー金具を付けたままでご使用になりますと
正常なスピーカー動作の妨げとなります。
輸送等にあたっては、スピーカー保護のために
ストッパー金具を取り付けてください。
ストッパー金具を取り外す時は、必ずスピーカーを寝かせた状態で
作業を行ってください。

**次にストッパーに巻かれている黒と白のスピーカーケーブルがねじれないように、
丁寧にほぐしながら取り出してください。**
スピーカーケーブルは、過度に引っ張ったり、ねじったりするなどのストレスを極力かけないように、
また、踏みつぶさないようにご注意ください。

次に、スピーカーを立てて

脚の先端３カ所を、イラストで示したように
それぞれ付属のベース・アダプターで受けてください。

スピーカーを立てたり、ベース・アダプターを敷くときは
本体上部に手を添えて、倒れないよう十分に気をつけてください。
また、スピーカー脚部の先が尖っていますので、
手や足の上に乗らないよう、十分に気をつけてください。

スピーカーとエンジンの接続

まず右のスピーカーケーブルを、エンジンに接続します。

右のスピーカーケーブルをエンジン後部の「R.Speaker」端子に接続します。
ケーブル（白）をスピーカー端子「＋」に、
ケーブル（黒）をスピーカー端子「－」に、接続してください。

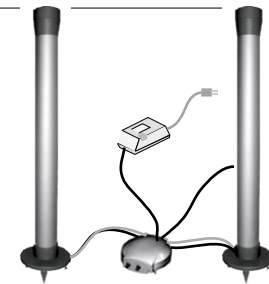
次に、左のスピーカーケーブルを、エンジンに接続します。

左のスピーカーケーブルをエンジン後部の「L.Speaker」端子に接続します。
接続方法は右側と同じ要領で行ってください。

さあ、音を鳴らしてみましょう！

お手持ちのＣＤプレーヤー等への接続

次に、ＣＤプレーヤー
などの音源機器と
接続します。

接続端子によって、
つなぎ方が異なりますので
下の解説をご参照ください。

右記の図のような
ステレオミニジャック←→ステレオミニジャックの場合

- **まず、エンジン後部のミニジャック端子に一方のミニジャックをしっかりと挿入してください。**
- **そして、一方のミニジャックを音源機器のヘッドホンジャック、またはラインアウト端子に差し込んでください。**
- **次に、エンジン前面の「Input」を「１」に切り替えてください。**

右記の図のような
ピンジャック（RCAタイプ）←→ステレオミニジャックの場合

- **まず、エンジン後部の Ｒ（赤）ピンジャック端子に「赤」のピンジャックを、Ｌ（白）ピンジャック端子に「白」のピンジャックをしっかりと取り付けてください。**
- **そして、一方のステレオミニジャックを音源機器のヘッドホンジャック、またはラインアウト端子に差し込んでください。**
- **次に、エンジン前面の「Input」を「２」に切り替えてください。**

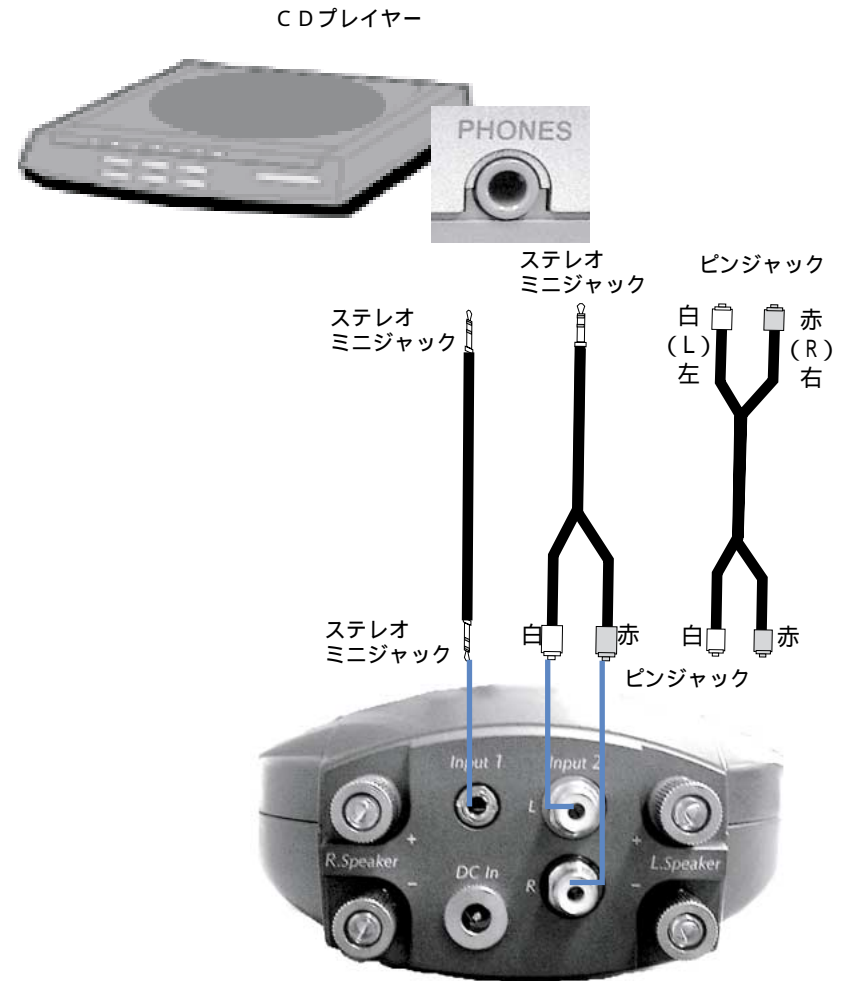
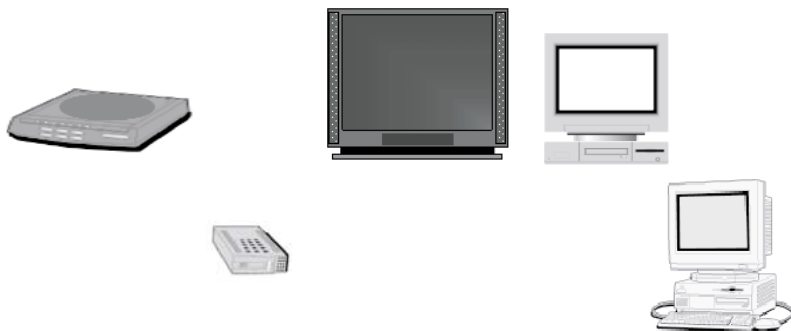
電源スイッチ「Ready」がオフ（下側）であることを
確認して、エンジンとＡＣアダプターを接続し、
電源プラグを
コンセントに差し込んでください。
電源スイッチ「Ready」をオン（上側）にしてください。

家庭用のコンセントは、差し込み口の長い方が一般的にはアース側です。
システムとして電源極性を合わせることで、より良い音の再生が可能となります。
本アダプタープラグの白マーキング側を、コンセントの長い方に差し込んでください。
ご不明な点がございましたらカスタマーサービス係へお問い合わせください。

さまざまな機器との接続

**Yoshii9°は、
本来オーディオリアライザーとして
ＣＤプレイヤー等により
ソフトの再生を楽しんでいただく
ものですが、
他の機器とも接続することができますので
以下に、その接続方法を
いくつか紹介いたします。**

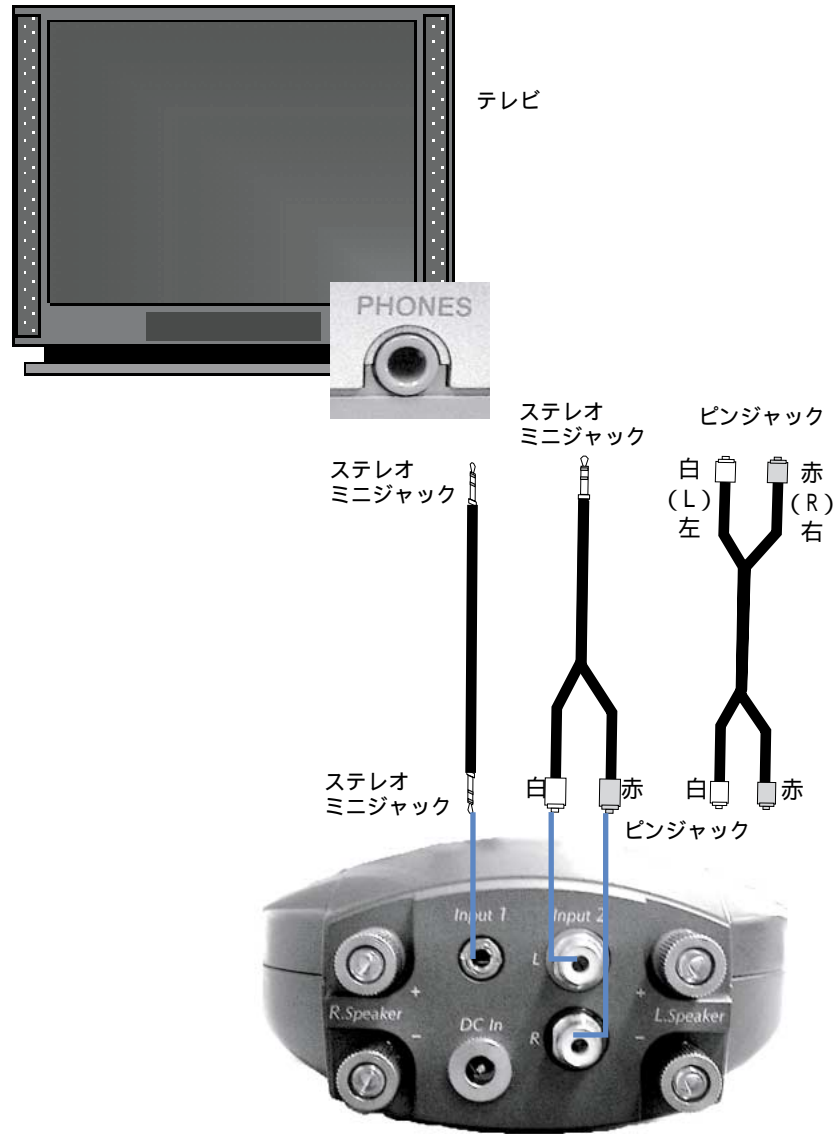
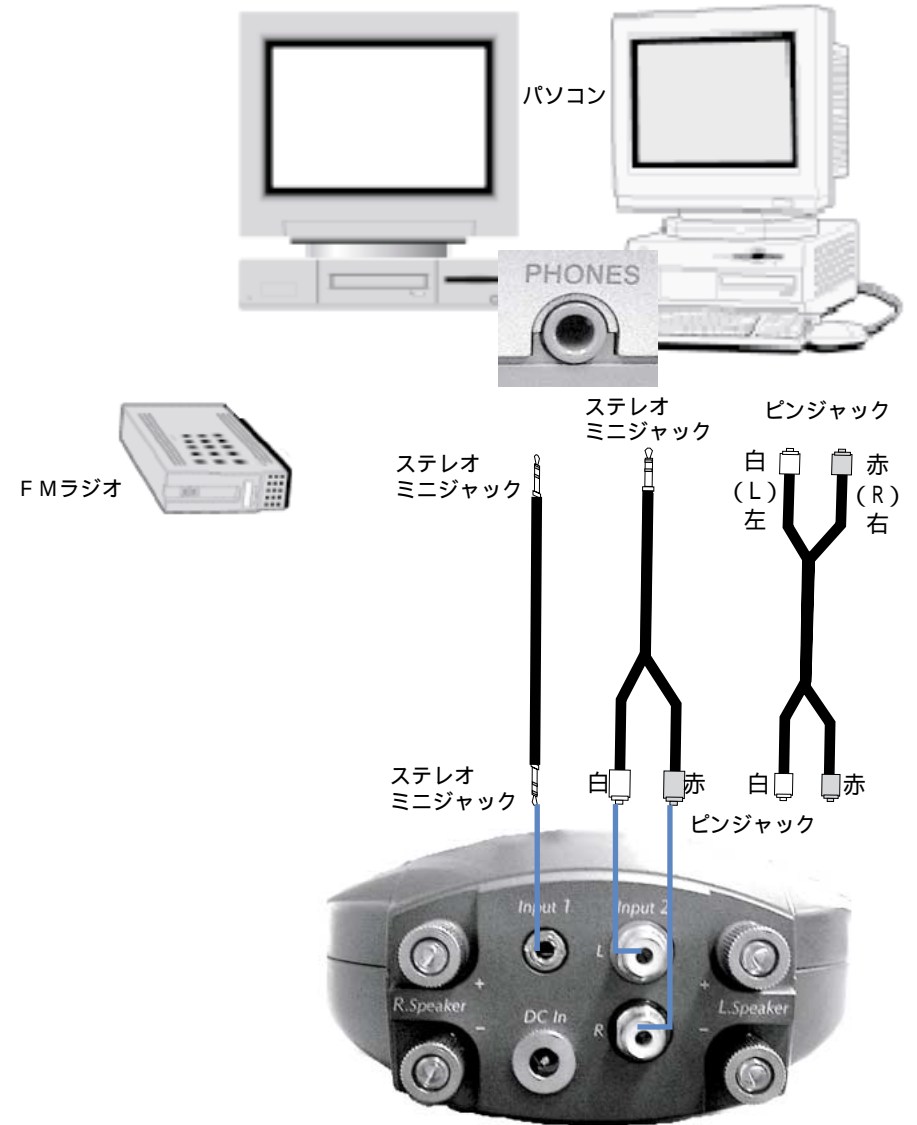
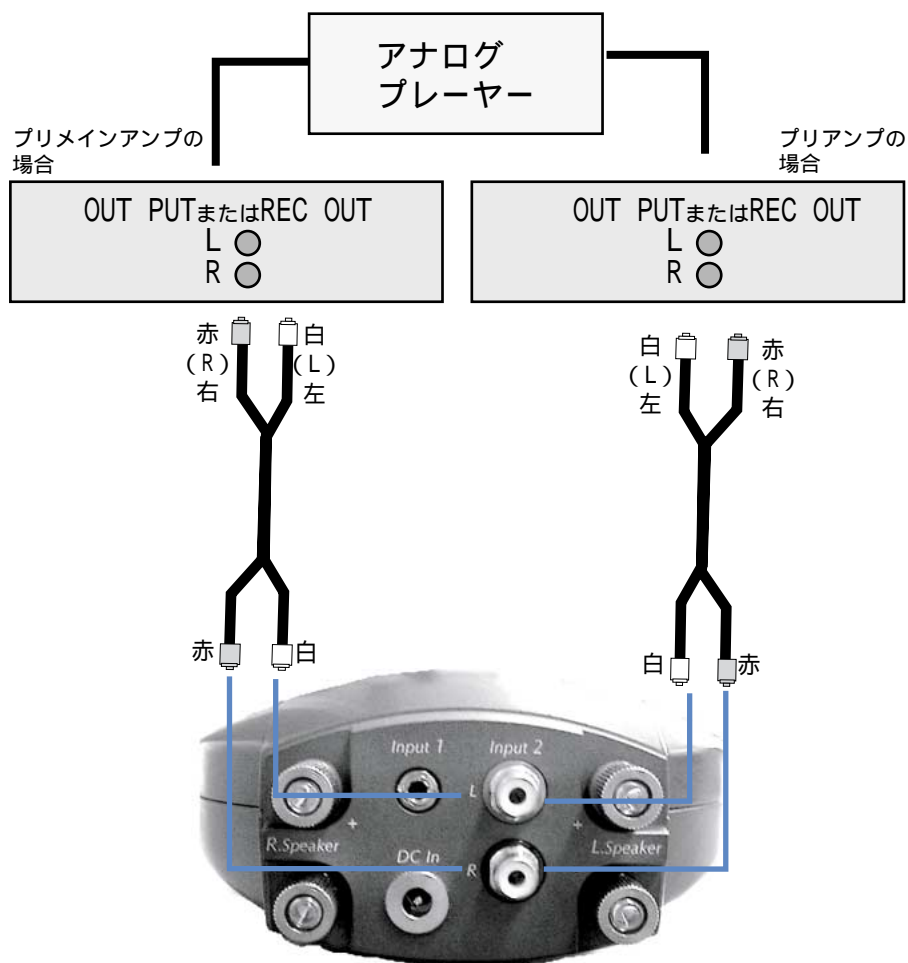
ＣＤプレイヤーとの接続

下記いずれかのコードを使用してお楽しみください。

11 テレビとの接続

下記いずれかのコードを使用してお楽しみください。

パソコン、ＦＭチューナーとの接続 12

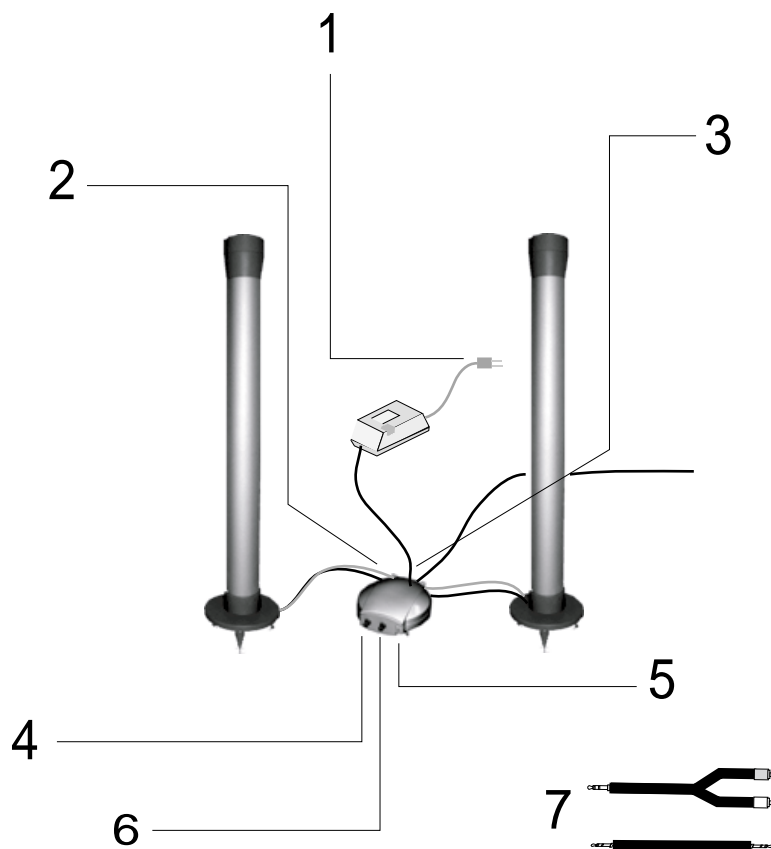
下記いずれかのコードを使用してお楽しみください。

アナログプレイヤーとの接続

プリメインアンプやプリアンプのセレクターＳＷで、ＬＰレコードプレイヤー、ＣＤ、ＭＤ、
チューナーなど接続されるすべての機器の音を聴くことができます。
ＲＥＣ ＯＵＴの出力は、プリメインアンプやプリアンプのボリュームとは関係なく
一定ですからYoshii9のSound Levelツマミで音量を調整してください。

接続機器によって音が変わる

タイムドメインは
ＣＤなどのソフトの中に入っている情報を
100%再生したいと願っております。
Yoshii9は、
従来、ソフトに入っていないと思われていた
情報まで再生することができます。
ただし、ＣＤプレイヤーなどの
再生機の条件によっては
十分な情報を引き出せない場合があります。
どうか、皆様のお耳に心地よいと思われる
再生機をお選びください。
カスタマーサービスにご連絡くださされば
皆様の詳細なご相談をお承りいたします。

あれっ！？…と思ったら・・・

故障かな？と思われる前に、もう一度、下記の項目をチェックしてください。

右記の方法でチェックし、なおかつおかしいと感じられる場合は、
使用をすぐに中止し、「カスタマーサービス係」にご連絡をお願いいたします。

電源スイッチをいれても音が出ない。
音が時々消える。変なにおいがしたり煙が出たりする。
電源スイッチを切っても音がする。
内部に水や異物が入ってしまった。

カスタマーサービス係では、皆さまの質問や疑問について、個々に対応させていただきます。

**１．ACアダプターの電源プラグがコンセントから
はずれかけていませんか？**

しっかり差し込んでいなければ、事故の原因にもなり危険です。

**２．エンジン後部のミニ・ピンジャック端子がきちんと
差し込まれていますか？**

ジャック端子を確実に奥まで差し込んで下さい。

**３．スピーカーケーブルを固定するネジがゆるんだり、
はずれかけたりしていませんか？**

スピーカーケーブル接続端子部分がしっかりと接続部にセットされ、
ネジが締められていることをご確認下さい。

**４．Input端子が音源機器からのジャック端子に対して、
適切な位置にセットされていますか？**

８ページで説明されているように、ジャックの種類によって「Input １」と
「Input ２」がきちんとセットされていないと、音が出ません。

**５．Ready（電源スイッチ）のレバーが上に入れられ、
緑色のランプが点灯していますか？**

Ready（電源スイッチ）が下がっていないか確認して下さい。

**６．Sound Level のスイッチが、「PP」側になったままでは
ありませんか？**

「pp」側から「ff」側につまみをを回してゆくと、音量があがってゆきます。

７．スピーカーの両方から音は出ていますか？

モノラルタイプのミニジャックを使うと、スピーカーの片側から
音が出なくなります。
ミニジャックはステレオタイプをご使用ください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

カスタマーサービス係から、
「Yoshii9」についての保証とアフターサービスについてのお知らせです。

保証について

保証書
製品には保証書が別途添付されています。所定事項（お買い上げ日など）
が記載されていること、
ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管して下さい。

修理をご依頼になるときは
「あれっ！？...と思ったら・・・」を参照してお調べいただき、
なお異常のあるときは、
製品の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、カスタマーサービス係に
ご連絡下さい。

保証期間（１年間）内の場合は...
保証書の記載内容に従い、カスタマーサービス係が無料修理を承ります。
修理の際は保証書をご提示下さい。
・取扱説明書に書かれていない使い方、他機種との接続、改造を加えた場合、
　ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも
　有料となります。詳しくはカスタマーサービス係までお問合せ下さい。

保証期間が過ぎている場合は...
カスタマーサービス係にご相談下さい。修理すれば使用できる場合は、
お客様のご要望により有料にて修理します。
・補習性能部品の最低保有期間は、通産省の指導により、製造打ち切り後８年間です。
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理方法について
「Yoshii9」はすべて持込み修理となります。カスタマーサービス係へご相談の後、
修理される場合はカスタマーサービス係（別途記載）までお持ち下さるか、
お送り下さい。

（注）箱は大切に保管しておいて下さい。
万が一不都合が生じましたときの修理の際、この箱を使用して下さい。
この箱を使用する以外の方法で、送り返された場合には、修理をお引き受け出来かねますので御了承下さい。
修理のために送り返す箱を保管していない場合は、カスタマーサービス係に御連絡をお願いいたします。

修理料金について
・備品代　　要した修理に要した部品の代金です。
　　　　　　その他、修理に要した部材などをふくむ場合もあります。

・技術料　　修理に関しての技術料、および部品以外にかかった諸費用です。

よりよい音を楽しむために！

タイムドメイン・オーディオリアライザーの音は、
わずかな変化（ケーブルへのストレスや部屋の環境など）で
変わる場合があります。
お使いいただく上で、これらの音の変化に対するご相談、
および、オーディオ設置環境などのご相談を承ります。

ご相談は、
タイムドメイン・カスタマーサービス係までご連絡ください。

カスタマーサービス係
http://www.timedomain.co.jp

E-mail: webmaster@timedomain.co.jp
TEL.　0743-72-3310
FAX.　0743-72-3313

Yoshii9取扱説明書
2000.10.10.
発行　株式会社タイムドメイン
　　　〒630-0101
　　　奈良県生駒市高山町8916-12
　　　高山サイエンスプラザ